【別紙様式】

平成２６年度　津山市立中正小学校

改善プラン「平成２６年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12 月）

	学校の取組・改善方法 （課題に対する改善方法）	進捗状況 （学期末時点）	3 学期及び来年度へ向けて （具体的な達成目標や数値目標等）
①	ペア学習や班学習で、全員が自分の意見を言うことができる。	B	○様々な教科・領域で意識して低学年ではペア学習、中高学年ではグループ活動を取り入れている。 ○分からないこともグループの中で、尋ねることができてきだしたが、全体の場で積極的に発言できる児童は少ない。 ○低学年は、3 学期にはグループ学習も取り入れていく。 ○児童の発言をつなげていくような話し方を指導していく。
②	「どんどんチャレンジ」（算数）で、全員が学年末までに当該学年の最終問題を終えることができる。	C	○多くの児童が意欲的に取り組んでいる。 ○前学年の問題でつまずいている児童へは、時間を設けて進めていく。 ○計算問題はおおむねできているが、数のしくみ・単位計算など理解が不十分な児童へは、ヒントコーナーを活用し対応していく。
③	学年に応じた家庭学習時間設定値を９０％以上にし、継続させていく。	B	○高学年は、おおむね家庭学習時間の確保ができている。3 学期は、予習としての自主学習に取り組ませたい。 ○自主学習の内容や読書の様子について、紹介し意欲付けを行っていく。
④	アンケート結果で、「授業は楽しい」「勉強を頑張っている」が８５点以上、「発表をしている」が８０点以上になる。	B	○２学期末のアンケートで、「授業は楽しい」７９％、「勉強を頑張っている」８２％、「発表をしている」７０％という状況。 ○児童の意識や価値観を「発表したい」「みんなに聞いてもらいたい」という方向へ転換させていくために、課題の投げかけ方、問いかけの内容について吟味し、児童の実態に合ったものにしていきたい。また、話し手を大切にする聞き方の指導も行っていく。
⑤	テストにおいて、期待得点または、平均点を超える。	B	○授業のなかでは、理解ができているが、定着がしにくい児童もいる。復習や反復練習も必要。間違えたところを自主学習で復習や練習するなどの方法をアドバイスする。 ○放課後学習の回数、学年を３学期は増やす。

※進捗状況・・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上 100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上 85%未満）」「C：目標をある程度達成できた（50%以上 70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上 50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」